

コミュニティ・スクールだより

目指す子供像:もっと課題を解決したいと考え、自ら行動する菊東学舎の子

第2回菊東学舎学校運営協議会を開催しました

第2回菊東学舎学校運営協議会を河城小学校で開催しました。今回のテーマは、『学校の支援について』でした。近年、教員の勤務の特殊性や教育課題への対応や要請等により教員の長時間勤務の過酷さが明らかになり、学校の働き方改革が言われています。



学校の働き方改革の目的は、「教員のこれまでの働き方改革を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにする」ことです。働き方改革は教員の自助努力だけではできません。文科大臣のメッセージにもあるように保護者や地域の皆様に御協力を願うこともあります。そのことから、今回の協議会では、御自身の経験を踏まえ、働き方改革に繋がる考えを出し合いました。

【第2回学校運営協議会で話題になったこと】

- 教員の超過勤務時間が減ってきているが、まだ多い状況にある。
- 行事等を行う時、安全管理面や子供への声掛けなどで人がほしい。
- 県費で各校に配置されているスクールサポートスタッフさんの草刈りや宿題の点検、アンケートの集計等にとっても助けられている。
- スクールガードリーダーさんに子供たちを温かく見守っていただきありがたい。東中は地域の園芸ボランティアさんのおかげできれいな花が咲いている。
- 地域の方が学校に入ることで、子供たちが地域の人を知り、登下校の見守りや安全安心な生活を送ることができている。
- 支援員さんやボランティアさんが充実することが果たして学校の働き方改革につながるのか疑問である。
- 園や小学校で取り組む『架け橋プログラム』が菊東学舎の構想に入ることを望む。それにより、園・小学校・中学校のつながりが出てくると思われる。
- 六郷地区にも河城地区にもコミュニティ協議会の組織があるので、地区センターを窓口にして学校と地域がつながりをもったらどうか。
- 近隣の市で制服について検討しているが、菊川市でも制服が代わるのか。また、地域部活がどのように進むのか。

『主体性向上』をめざして 菊東学舎全体会

菊東中や六郷小、河城小の教職員が一堂に会して菊東学舎全体会を行いました。この会の目的は、菊東学舎の重点目標『主体性』をどのように向上させるのかをグループで協議し、より高い実践に結び付けることにあります。小中学校の教職員が学年と教科を元にしたグループを構成し、授業づくりについて熱心に話し合いました。6月と7月に検討を重ねた指導案を使って、今回授業をしました。練った指導案を使って事前に授業を行った教職員もいれば、今日の話合いを受けてから授業を行う教職員もいました。



地域の事業所・施設を知る 菊東中1年生

菊東中1年生は、市内の事業所や施設を回って学習するフィールドワークを行いました。自分が調べたい官公庁や事業所、施設などのグループを組み、地域課題やそこで働く人の思いや願いなどを聞いたり目で確かめたりしました。フィールドワークのよさは、本やインターネットでは学べない情報を直接現地で集めることができます。生徒たちは、話をしてくださる方を向きメモながらしっかりと聞き取っていました。



苦手な食べ物にも挑戦 河城小1年生

河城小1年生は、栄養士さんを招いて食の授業を行いました。食べ物にはどのような栄養があるのかを知るとともに、バランスよく栄養を取ることの大切さを学びました。苦手な食べ物にも挑戦し、何でも食べられることを願っています。授業後には給食の配膳の様子を見ていただきました。



JA 遠州夢咲さんとコラボ、商品販売 六郷小5年生

六郷小5年生は、JA直売所においてJA遠州夢咲さんとコラボしてJA『夢茶』と児童が家庭科で製作した手作り商品を販売しました。この活動には多くのボランティアの皆様や地域・保護者の皆様が関わってくださいました。看板を掲げたり動画を作成したりするなどの工夫をし、積極的に呼び込みをしました。11月9日には六郷フェスタの開催予定ですが、六郷地区センターと六郷小がコラボして会を盛り上げていきます。

